

南瓜

芥川龍之介

青空文庫

何しろ南^{かぼちや}瓜^{うり}が人を殺す世の中なんだから、驚くよ。どう見たつて、あいつがそんな大^{だい}それた真似をしようなんぞとは思はれないぢやないか。なにほんものの南^{かぼちや}瓜^{うり}か？ 冗^{じよう}談^{だん}云^いつちやいけない。南^{かぼちや}瓜^{うり}は綽^{あだな}号^{ごう}だよ。南^{かぼちや}瓜^{うり}の市^{いち}兵^{へい}衛^ゑと云^いつてね。吉^{よし}原^{はら}ぢや下^{しも}つぱの
——と云^いふよりや、まるで数^{かず}にはいつてゐない太^{たい}鼓^こ持^{もち}なんだ。

そんな事を聞く位ぢや、君はあいつを見た事がないんだらう。そりや惜しい事をしたね。もう今ぢや赤い着物を着てゐるだらうから、見たいつたつて、ちよいとは見られるもんぢやない。頭^{こしら}でつかちの一寸^{いっすん}法^{ぽう}師^し見^みたいなやつでね、夫^{それ}がフロツクに緋^ひ天^{てん}鳶^う絨^{じよう}のチヨツキと云^いふ拵^{こしら}へなんだから、ふるつてゐたよ。おまけにその鉢^{はち}の開^{ひら}いた頭^{あたま}へちよんと鬚^{まげ}をのつけてゐるんだ。それも粋^{よしべ}な由^よ兵^{へい}衛^ゑ奴^{やつこ}か何かでね。だから君、始めて遇^あつたお客は誰でもまあ毒^{どく}氣^きをぬかれる。すると南^{かぼちや}瓜^{うり}のやつは、扇^{あふ}子^こで一つその鉢^{はち}の開^{ひら}いた頭^{あたま}をぼんとやつて、「どうでげす。新^{しん}技^ぎ巧^{かう}派^{はい}の太^{たい}鼓^こ持^{もち}もたまには又^{また}乙^{おつ}でげせう」つて云^いふんだ。悪い洒^{しやれ}落^{らく}さね。

洒^{しやれ}落^{らく}と云^いへば、南^{かぼちや}瓜^{うり}にや何^{なん}一つ芸^げらしい芸^げがない。唯^{ただ}お客をつかまへて、洒^{しやれ}落^{らく}放^{はう}題^{だい}酒^{しゆ}落^{らく}る丈^{だけ}なんだ。それが又「にはかに洒^{しやれ}落^{らく}られません」つて程^{ほど}にも行^いかないんだから、心

細いやね。尤もそこはお客もお客で曲りなりにも洒落のめせば、それでもう多^{たわい}暖なく笑つてゐる。云はば洒落のわかつたのが、うれしくつてたまらないと云ふ連中ばかりなんだ。あいつも始^{はじめ}はそれが、味^み噌^{そけ}気だつたんだらう。僕が知つてからも、随^{ずあふん}分いい氣になつて、撥^{くすぐ}つたもんさ。所がいくら南^{かぼちや}瓜だつて、さう始終洒落^{しやれ}てばかりゐる訳にや行きやしない。たまには改まつて、真^ま面^め目な事も云ふ時がある。が、お客の方ぢや南^い瓜^つは何時でも洒落るもんだと思つてゐるから、いくらあいつが真^ま面^め目な事を云つたつて、やつぱり腹を抱へて笑つてゐる。そこがこの頃になつて見ると、だんだんあいつの氣になり出したんだ。あれで君、見かけよりや存^{ぞんぐわい}外^{がい}神^{しん}經^{けい}質^{しつ}な男だからね。いくらフロツクに緋^ひ天^{てん}鳶^う絨^{じやう}のチヨツキを着て由^{よし}兵^{へい}衛^ゑ奴^{やつこ}の頭を扇^{せん}子^すで叩いてゐたつて、云ふ事まで何^い時^つでも冗^{じやう}談^{だん}だとは限りやしない。真^ま面^め目な事を云ふ時は、やつぱり真^ま面^め目な事を云つてゐるんだ、事によるとお客よりや、もつと真^ま面^め目な事を云つてたかも知れない——とまあ、僕は思ふんだがね。だからあいつに云はせりや「笑ふ手前が可^を笑^かしいぞ」位な氣は、とうの昔からあつたんだ。今度のあいつの一件だつて、つまりはその不平^{ふへい}が高^{かう}じたやうなもんぢやないか。

そりや新聞に出てゐた通り、南^{かぼちや}瓜^うが薄^{うすくも}雲^だ太^い夫^ふと云ふ華^{おいらん}魁^ほに惚^ほれてゐた事はほんたうだらう。さうしてあの奈^{なら}良^ら茂^もと云ふ成^{なり}金^{きん}が、その又太^{たい}夫^ふに惚^ほれてゐたのにも違ひない。

が、なんぼあいつだつてそんな鞆^{さやあてすぢ}当筋^{あてすぢ}だけぢや人殺しにも及ぶまいぢやないか。それよりあいつが口惜^{くやく}しがつたのは、誰もあいつが薄雲太夫に惚れてゐると云ふ事を、真^まにうける人間がゐなかつた事だ。成金のお客は勿論、当の薄雲太夫にした所で、そんな事は夢にもないと思つてゐる。尤^{もつと}もさう思つたのも可愛^{かはい}さうだが無理ぢやない。向うは仲^{なか}の町^{ちやう}でも指折りの華魁^{おいらん}だし、こつちは片輪も同様な、ちんちくりんの南瓜だからね。かうならな
 い前に聞いて見給へ。僕にしたつて嘘だと思ふ。それがあいつにやつらかつたんだ。別して惚れた相手の薄雲太夫が真にうけないのを苦に病^やんだらしい——だからこそその人殺しさ。
 何でもその晩もあいつは酔つぱらつて薄雲太夫^{うすぐもだいふ}の側へ寄つちや、夫婦になつてくれとか何とか云つたんださうだ。太夫^{たいふ}の方^{はう}ぢや何時^{いつ}もの冗談^{じやうだん}と思ふから、笑つてばかりゐて相手にしない。しないばかりなら、よかつたんだが、何かの拍子^{ひやうし}に「市兵衛^{いちべゑ}さんお前
 妾^{わちきほ}に惚れるなら、命^{いのち}がけで惚れなまし」つて云つたんださうだ。それがあいつの頭へぴんと来たんだらう。おまけに奈良茂^{ならも}がその後^{あと}から、「かうなると汝^{われ}と己^{おれ}とは仇同志^{かたき}や。今^{いま}が
 今でも命のやりとりしてこまそ」つて、笑つたと云ふんだから機^き会^{かい}が悪い。すると、南^な瓜^かは今まではしやいでゐたやつが、急に血相^{けつさう}を変へながら坐り直して——それから君、
 何をやつたと思ふ。あいつがそのとろんこになつた眼を据ゑてハムレットの声^{こゐろ}色^{しき}を使つ

たんだ。それも英語で使つたんだと云ふから、驚かあね。

これにや一座も、呆氣にとられた。——とられた筈さ。そこにゐた手合にや、遊扇にしろ、蝶兵衛にしろ、英語の英の字もわかりやしない。其角だつて、「奥の細道」の講

釈はするだらうが、ハムレットと来た日にや名を聞いた事もあるまいからね。唯その中でたつた一人、成金のお客にやこれがわかる——そこは亜米利加で皿洗ひか何かして来ただけに、日本の芝居はつまらないとあつて、オペラコミックのミス何とかを鼻屑にしてゐると云ふ御人体なんだ、がもとより洒落だと心得てゐたから、南瓜が妙な身ぶりをしながら、薄雲太夫をつかまへて、「You go not till I set you up a glass/Where you may see the in

most part of you.」とか何とか云つても、不相変げらげら笑つてゐたさうだがね。——そ

こまでは、まあよかつたんだ。それがハムレットの台辞よろしくあつて、だんだんあいつが太夫につめよつて来た時に、間の悪い時は又間の悪いもので、奈良茂の大將が一杯機嫌でどこで聞きかじつたか、「What, ho! help! help! help!」とポロニアスの声色を使つたぢ

やないか。南瓜のやつはそれを聞くと、急に死人のやうな顔になつて、息がつまりさうな声を出しながら、「How, now! A rat? Dead for a ducat, dead!」と云ふが早い、いきなり奈良茂の側にあつた鮫鞘の脇差を引こぬいて、ずぶりと向うの胸へ突こんだんだ。そこ

でほんもののポロニアスなら「Oh! I am slain.」と云ふ所なんだが、刀は切れるし、急所だし、うんと云つたきりお客は往わう生じやうさ。その血の出た事つたらなかつたさうだよ。

「見やあがれ。己おれだつて出たらめばかりは云やしねえ。」——南か瓜ぼちやはさう云つて、脇差はさを抛なり出したさうだがね。返り血もかつたんだらうが、チョツキが緋ひ天てん絨じやう鶯うなので、それがさほど目に立たない。人を殺したつて、殺さなくつたつて、見た所はやつぱりちんちくりんの、由兵衛よしべゑ奴やつこにフロツクを着た、あの南瓜いちべゑの市兵衛いちべゑが、それでもそこにゐた連中にや、別人のやうに見えたんだらう。——見えたんぢやない。まるで別人になつてしまつたんだ。だから、あいつが御用ごようになつて、茶屋の二階から引立ひつたてられる時にや、捕とり縄なはのかかつた手の上から、桐きりに鳳凰ほうわうの繡ぬいのある目のさめるやうな綺麗きれいな仕掛しかけを羽織はおつてゐたと云ふぢやないか。なに誰の仕掛だ。勿論うすくも薄雲うすくも太夫だいふのさ。

それ以来よしはら吉原きちげんは、今でもあいつの噂うはさで持ちきつてゐるやうだ。兎とに角かくこれで見ても、何でも冗談じやうだんだと思ふのは危険だよ。笑つて云つたつて、云はなくつたつて、真面目まじめな事はやつぱり真面目な事にちがひないからね。

(大正七年二月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

南瓜

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>